



地域医療・介護・福祉の取組の推進

県民が健やかに安心して暮らせる地域社会の実現

主担当部局：医療政策部・健康福祉部



病院内でのカンファレンス



障害者の雇用に配慮した「特例子会社」で働く人たち

目指す姿

将来にわたり適切な医療・介護を受けられるよう、効率的かつ質の高い医療提供体制を整備するとともに、地域包括ケアシステムを構築し、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進します。

また、高齢者や障害者をはじめ、誰もが住み慣れた地域で、健やかに安心して、生きがいを持って暮らすことができる地域づくりを目指します。

目標

平成29年度までに、県民アンケート調査(平成25年度)で重要度が高かった項目の満足度のポイントを向上させます。

急病時に診てもらえる医療機関があること

(重要度1位、満足度24位) ※32項目中

2.73ポイント ➡ 3.00ポイント
にアップします。

安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること

(重要度6位、満足度28位) ※32項目中

2.65ポイント ➡ 2.80ポイント
にアップします。

県民アンケート調査(平成27年度)で重要度が高かった項目の満足度のポイントを向上させます。

高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること

(重要度5位、満足度18位) ※32項目中

2.87ポイントから
毎年度向上 ➡
させます。

障害者が住み慣れた地域で、自分に合った支援サービスを受けられること

(重要度12位、満足度22位) ※32項目中

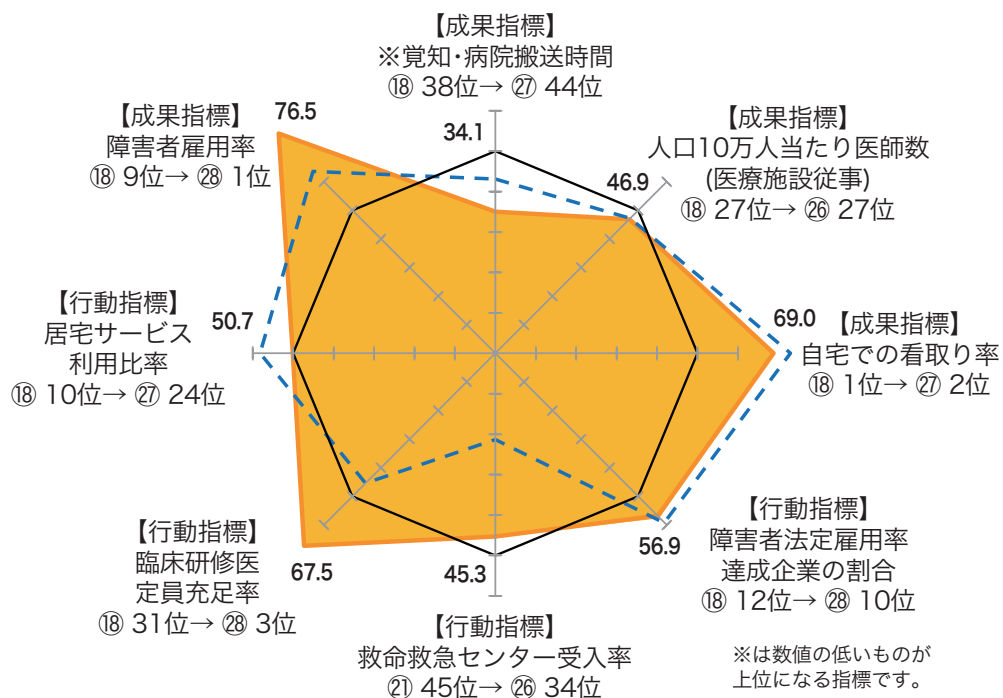
2.82ポイントから
毎年度向上 ➡
させます。

平成31年度までに、地域福祉を推進するため、市町村で活躍するコミュニティソーシャルワーカーを養成し、

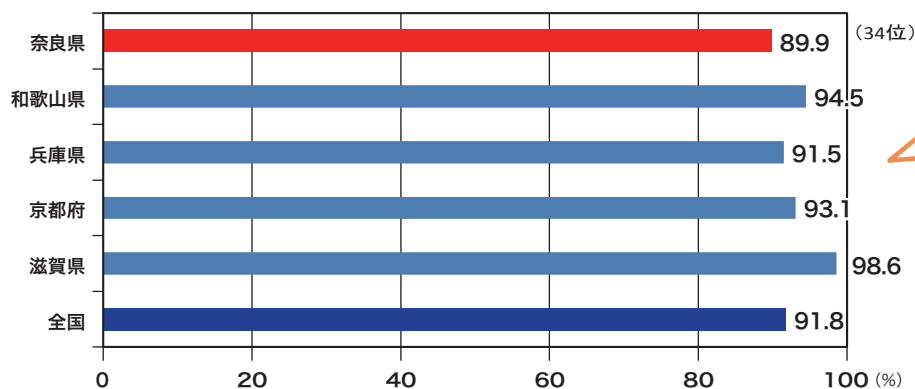
100人の登録
を目指します。

(平成27年度：養成数0)

※県民アンケート調査は5段階で評価しています。



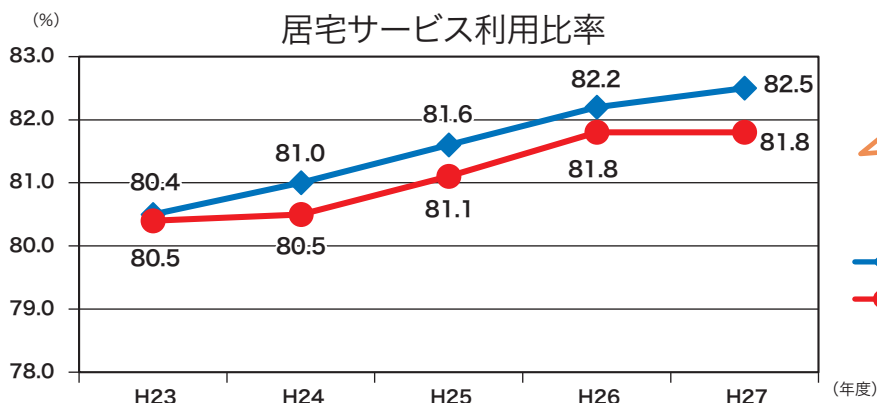
救命救急センター受入率



H26年救急搬送における医療機関受入状況等実態調査

前年より救命救急センター受入率が5%上昇し、全国順位も前年(40位)より改善しました。

居宅サービス利用率



地域密着型サービスの利用率は増加しましたが、居宅サービス全体の利用率は前年度と同じ値となりました。

戦略 1

高度医療の需要に対応できる提供体制を構築します。

主担当課：医療政策部 病院マネジメント課

戦略目標

▶ 平成30年度までに、高度医療拠点病院にふさわしい施設・機器を整備します。

取組

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
北和地域の高度医療拠点病院として奈良県総合医療センターを整備				
全面的な建て替え整備	造成工事		● 開院	
	建築工事			
診療機能の段階的整備	機能整備			
中南和地域の高度医療拠点病院として奈良県立医科大学附属病院を整備				
新病院(E棟)の整備	二期工事	● 竣工		
診療機能の段階的充実	機能整備			



高度医療拠点病院として整備を予定している
奈良県総合医療センター(イメージ図)



がん患者等への最先端治療を行う
奈良県立医科大学附属病院新病棟(E棟)

戦略 2

救急医療・周産期医療提供体制を構築します。

主担当課：医療政策部 地域医療連携課

戦略目標

- ▶ 平成29年度までに、救急度の高い患者（心肺停止・脳卒中/急性心筋梗塞・重症外傷等の重篤疾患）の受入先確保に要する**病院照会回数が4回以上の割合を半減**します。（平成23年度：13.2%）
- ▶ 平成29年度までに、**小児の一次救急医療体制を県内全ての市町村で確保**します。（広域連携による整備を含む）（平成24年度：32市町村）
- ▶ 平成30年度までに、**24時間365日の救急搬送受入を可能とするER型救急医療体制**を北和地域と中南和地域において**構築**します。

取組

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
重症疾患について「断らない救命救急」体制の整備				
重症疾患について「断らない救命救急センター」の整備		整備		
救急搬送ルールの実用等		運用・見直し		
休日夜間応急診療所の体制整備				
		体制支援		
救急安心センター（＃7119）の運営				
		設置・運営		
ER型救急医療体制の構築				
北和地域（奈良県総合医療センター）の体制構築		ERの運用・見直し		
中南和地域（奈良県立医科大学附属病院）の体制構築	土日ERの運用		24時間365日ERの運用	
ドクターヘリの導入				
	導入に向けた準備		ドクターヘリの運航	
周産期母子医療センターの充実				
		機能の充実		



平成29年に導入予定のドクターヘリ（イメージ図）



NICU（新生児集中治療室）（奈良県総合医療センター）

医師・看護師の確保を図ります。

主担当課：医療政策部 医師・看護師確保対策室

戦略目標

- ▶ 平成30年度までに、医師不足の診療科（産科・麻酔科・小児科・総合診療科）、救命救急センター及びへき地に勤務する医師の育成・偏在解消のため、奨学金制度による配置医師数を大幅に増加させます。（平成28年度：13名）
- ▶ 平成31年度まで、県内医療機関の臨床研修医のマッチング者数を毎年度100名以上確保できるよう支援します。
- ▶ 看護師の養成・定着を促進し、看護の質の向上を図り、看護師不足の状況改善を図ります。

取組

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
医師・看護師の確保・養成支援・定着促進				
医師確保修学資金の貸与	医師確保修学資金の貸与			
総合診療専門医の育成支援	専攻医募集・研修の支援			
臨床研修医確保の推進	臨床研修病院合同説明会等の実施			
女性医師の復職応援	女性医師復職研修及び働きやすい病院勤務形態を支援			
看護職員の養成	看護師等修学資金の貸与等、看護師等養成所の運営支援			
看護職員の資質向上	研修の推進			
看護職員の復職支援	復職研修の実施、ナースセンターによる再就業支援			
医療従事者の勤務環境改善	医療勤務環境改善支援センターの運営、病院内保育所の運営支援			
安定的な医師配置システムの運営				
地域医療学講座の運営	地域の医療状況の研究、医師育成プログラムの研究			
地域医療支援センターの運営	ドクターバンク、県費奨学生の配置及びキャリア形成支援			
へき地を支える医師の確保				
	自治医科大学卒業医師等の配置			



診察風景（奈良県総合医療センター）



看護研修（奈良県総合医療センター）

地域の医療機関による連携体制及び医療・介護サービスの需要に対応できる地域医療提供体制を構築します。

主担当課：医療政策部 地域医療連携課

戦略目標

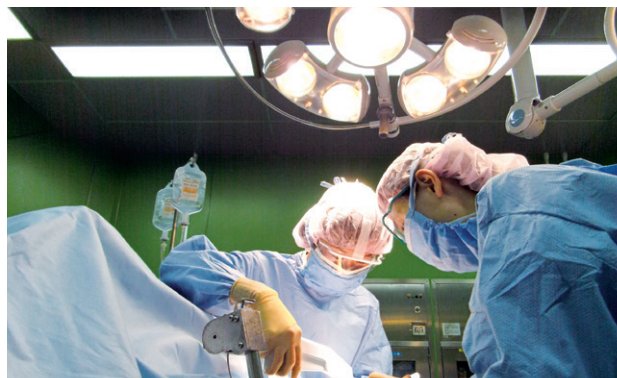
- ▶ 平成30年度までに、**医療介護連携ネットワークシステム**を県内で**一部試行**させます。
- ▶ 平成29年度までに、地域ごとに多職種が連携して**在宅医療提供体制**を**構築**する取組を進め、**在宅（自宅+老人ホーム）看取り率**で**全国1位**を目指します。（平成27年度：全国4位）
- ▶ 平成29年度までに、**南和地域の3つの公立病院**を、急性期・回復期を担う1つの病院と慢性期を担う2つの病院に役割を分担して、新しい組み合わせの3つの病院に**再編整備**します。

取組

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
地域における病病連携や病診連携の推進				
医療機関の機能分化と連携の推進	患者の受療・疾病動向等の調査・分析、病床改修支援等			
救急隊と医療機関の連携	搬送ルール運用・見直し			
がん・脳卒中・急性心筋梗塞等における役割分担、連携ネットワークの推進	地域連携バスの運用			
糖尿病診療に関する専門医とかかりつけ医(非専門医)の連携	検討・協議・推進			
地域医療・介護連携ICTネットワークの推進				
地域医療・介護連携ICTネットワーク、マイ健康カードの推進	検討・調査	開発・構築・一部試行		
多職種が連携した在宅医療提供体制の構築の推進				
在宅医療提供体制の構築の推進	実施、検証・見直し			
南和地域の医療提供体制の再構築				
南奈良総合医療センターの運営	● 開院	供用		
吉野病院の運営	● 開院	供用		
五條病院の整備・運営	改修工事	● 開院	供用	
医療機能の再編	協議、再構築	運用・推進		
医療事故情報の収集・分析・情報共有				
	組織・事業内容の検討	準備	組織の立ち上げ・運営	



南和地域の拠点病院として開院した南奈良総合医療センター



病院内の手術室

高齢者が生きがいを持って安心して暮らすことができるよう、介護保険制度の着実な運営、地域包括ケアシステムの構築を推進します。 主担当課：健康福祉部 長寿社会課

戦略目標

- ▶ 平成31年度までに、**居宅で介護サービスを受ける高齢者の割合を84%まで上げることを目指します。**(平成26年度:81.6%)
- ▶ 平成31年度までに、**特別養護老人ホームの定員数を7,440人、老人保健施設の定員数を5,090人**にすることを目指します。(平成27年度:特養 6,491人、老健 4,473人)
- ▶ 平成31年度までに、**運動習慣者の割合50%以上**を目指します。(平成26年度:43.6%)

取組

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
介護保険制度の着実な運営・介護人材の確保				
奈良県高齢者福祉計画及び介護保険事業支援計画の推進	県民調査実施	7期計画策定	7期計画に基づき施策を展開	
	6期計画に基づき施策を展開			
介護サービス基盤の整備	6期計画に基づく特別養護老人ホーム等の整備		7期計画に基づく特別養護老人ホーム等の整備	
地域医療介護総合確保基金を活用した介護人材確保対策	基金を活用した人材確保の取組			
主要プロジェクト 12	地域包括ケアシステムの構築			
	市町村の地域包括ケアシステム構築支援	モデル市町村を補助金、ノウハウ提供等により支援		モデル市町村の取組の他市町村への普及
	介護予防の推進	地域づくりによる介護予防推進モデル市町村への支援、モデル市町村が培ったノウハウの他市町村への普及		
	認知症施策の推進	市町村の初期集中支援チーム設置支援等		早期発見・早期対応の推進
			認知症介護人材養成の強化	認知症介護の充実
	若年性認知症施策充実に 向けた検討	若年性認知症サポートセンターの設置・運営、認知症の人やその家族への支援充実		
生活支援の充実	生活支援コーディネーター養成、市町村の協議体設置支援		市町村の生活支援体制整備推進を支援	
県総合医療センター跡地活用プロジェクト	基本構想の検討			事業の実施
西和地域在宅医療・包括ケア推進プロジェクト	在宅医療・介護連携拠点の検討	退院調整ルールの策定等	検証・見直し、他地域への普及	
医大・周辺まちづくりプロジェクト	新キャンパス、医大病院整備計画及び周辺地域における包括ケアのまちづくりの検討			
宇陀市在宅医療・包括ケア推進プロジェクト	多職種連携ネットワークの推進、退院調整ルールの運用・検証等		検証・見直し、他地域への普及	
南和地域在宅医療・包括ケア推進プロジェクト	多職種連携ネットワーク、 認知症初期集中支援チーム広域設置推進等		検証・見直し、他地域への普及	
高齢者の生きがいづくりの推進				
高齢者のスポーツ活動・文化活動の推進	「ならシニア元気フェスタ」、高齢者美術展の開催等			
高齢者の生きがい就労の支援	生きがい就労の支援(起業支援、セミナー・情報交換会開催等)			



ならシニア元気フェスタ(檀原公苑)



ならビューティフルシニア表彰式

障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会の実現のため、障害者の雇用促進、社会参加の促進等に取り組みます。 主担当課：健康福祉部 障害福祉課

戦略目標

- ▶ 平成31年度までに、**障害者雇用率2.57%**(平成27年度:2.40%)、**平均工賃月額20,000円**(平成25年度:13,856円)を目指します。
- ▶ 平成31年度までに、**障害者のグループホームの定員数1,355人**を目指します。(平成25年度:743人)
- ▶ 平成31年度までに、**23,500人の「まほろば『あいサポーター』」養成**を目指します。(平成25年度:2,951人)

取組

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
障害者の雇用促進				
一般企業等における雇用の場の確保	「障害者はたらく応援団なら」の取組推進			
職場実習機会の拡大と充実	就労連携コーディネーターの配置、ジョブサポーターの派遣・養成等の実施			
優先調達の推進と工賃の向上	優先調達の推進、売れる商品づくりの推進			
県庁における障害者就労支援の実施	県庁内での施設外就労の実施			
障害者の社会参加の促進				
情報アクセシビリティの向上	意思疎通支援の充実に向けた取組の実施			
「まほろば『あいサポート運動』」の推進	あいサポーターの養成、あいサポート企業・団体の認定			
スポーツ・芸術文化活動を通じた交流の推進	スポーツフェスティバルの開催等			
	全国障害者芸術・文化祭の開催等		芸術祭の開催等	
障害者の住まいの充実				
公営住宅の障害者グループホームへの活用	公営住宅の障害者グループホームへの改修整備の実施			
障害者施設・グループホームの整備	障害者施設・グループホームの整備に対する助成の実施			
障害者と家族を支える相談体制の充実				
地域の相談支援体制の構築に向けた支援の充実	トータルサポートの実現に向けた取組の実施			
広域的・専門的な相談機能の充実	発達障害支援センター、高次脳機能障害支援センター等による相談支援			
療育体制の充実・強化				
地域における障害児療育の体制整備	障害児療育支援者連携への取組等の実施			



奈良県障害者政策推進トップフォーラム



障害者スポーツフェスティバル(橿原市)

支え合い、安心して暮らすことができるよう、地域福祉を推進します。

主担当課：健康福祉部 地域福祉課

戦略目標

- ▶ 平成31年度までに、**小さな拠点モデル地区でのサロン参加登録者の割合を地域の高齢者数の30%以上にします。**(平成27年度：登録者数0)
- ▶ 平成31年度までに、事業所支援を行うなどして、**奈良県福祉・介護事業所認証制度の認証数を200事業所以上にします。**(平成27年度：認証事業所数0)

取組

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
「支え合い」活動の推進				
小さな拠点モデル事業の展開	モデル事業の実施			次期計画に基づく事業展開
避難行動要支援者支援の充実	名簿の作成、個別計画の策定支援の実施			
民生委員・児童委員活動の推進	民生委員・児童委員への研修・活動助言、相談等の実施			
地域福祉の担い手づくり				
コミュニティソーシャルワーク活動の充実、県域ネットワークの構築	コミュニティソーシャルワーカーの養成			活動充実
	県域ネットワークの構築・拡充			
奈良県福祉・介護人材確保に向けた協働・連携の推進	協働・連携による取組の実践			
奈良県福祉・介護事業所認証制度の導入・運用	導入準備	認証制度の運用		
奈良県福祉人材センターの取組推進	参入促進・定着支援等の実施			
安心できる福祉基盤の整備				
おもいやり駐車場制度の運営	おもいやり駐車場制度の運営・拡充			
生活困窮者自立支援の充実	生活困窮者等への自立支援相談			
出所者の地域生活への定着支援	出所後の福祉サービスへの事前調整等の実施			



おもいやり駐車場(馬見丘陵公園)



小さな拠点モデル事業での多世代交流(王寺町)

これまでの成果

- 急病時に受診すべきかなどのアドバイスを
行う**電話相談窓口**を**継続して実施**しました。
(1日平均相談件数 平成20年度:12.1件→平成27年度:174.1件)

★ 周産期母子医療センターの充実等により、**ハイリスク妊婦の県内受入搬送が増え**ました。
(平成20年:158件→平成27年:278件)

- 臨床研修医を確保するため、**臨床研修病院の合同説明会**を実施しました。(県内の臨床研修開始者数 平成20年度:80名→平成28年度:102名)

- 地域包括ケアシステムの構築に向け、モデルとなる市町村の取組に対して補助金等による支援を行い、生駒市、川上村が**全体構想を策定**、奈良市、大和郡山市等10市町村が**介護予防や在宅医療・介護連携の充実**に取り組みました。

- 在宅医療・介護連携を推進するため、橿原市、高取町、明日香村の取組を支援し、橿原地区において**退院調整ルール**が**策定**されました。

- 介護保険制度を着実に運営するため、計画に基づき**介護老人福祉施設**(特別養護老人ホーム)の**整備**(平成28年度定員数:6,661人)と**老人保健施設の整備**(平成28年度定員数:4,665人)を進めました。

★ **障害者政策推進トップフォーラム**(平成28年9月開催、参加者約130名)を**開催**し、県内各界のトップの方々と**障害者雇用に関する理解・促進を推進**するとともに職場実習先の確保・拡大並びに業界等への職場開拓を進めました。

- すべての県民が、相互に人格と個性を尊重し合うとともに、支え合いながら安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指して**奈良県地域福祉計画**(H28～H30)を**策定**しました。(平成28年3月)

主な指標の動き

●よくなっている指標

人口10万人当たり医師数(医療施設従事)

201.0人
(平成18年度 全国27位)



225.7人
(平成26年度 全国27位)

医師が都市部に偏在している傾向があるため、全国平均を下回っているものの、総合的な医師確保対策により、医師数は継続して増加しています。

障害者雇用率

1.88%
(平成18年度 全国9位)



2.60%
(平成28年度 全国1位)

県、奈良労働局をはじめ、障害者就労支援機関が密接に連携した取組を進めてきたことにより、障害者雇用率が上昇し、平成28年度は全国1位になりました。

●変化が見られない指標、低下している指標

自宅での看取り率

16.5%
(平成18年度 全国1位)



16.1%
(平成27年度 全国2位)

居宅でのサービスを受ける高齢者の割合が80%超を維持し、自宅での看取り率は0.4ポイント低下したものの、依然として全国順位の上位を維持しています。

※覚知・病院搬送時間

33.0分
(平成18年度 全国38位)



44.3分
(平成27年度 全国44位)

全国的に伸びる傾向にありますが、救急出動回数の増加等により、奈良県は全国平均以上に伸びています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。